令和3年度 学校評価まとめ 生徒・保護者・教職員・学校関係者(PTA役員22名・学校評議員7名)

(1)教職員相互の信頼と協和を基盤として、創意と活力に満ちた学校の創造に努める。

		40				各項目百	分率(%)		夕でロ	I ≅\ T		学校園	関係者 [[] 価
	重点努力目標 (短期目標)	新番号	対象	アンケート項目	1	2	3	4	各項目 (4点満点	5換算)	校内	評	価
	(短期目標)	号	象	アンソート項目		どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そうは 思わない	A:3.2(8割)以上 B:2.4(6割)以上		校内 総合 評価	PTA	評議員
チーム南稜としての	○命を尊ぶ不易の理 念と時代に即した新 たな教育観をもち、 困難な現状も創意と 工夫により立ち向か う、情熱と活力に満 ちた教職員集団をめ ざす。	2	員	学校は、安全教育や道徳教育を中心にして、命を大切にした教育に努めていますか。 学校は、教職員の同僚性を高めるために、お互いに協力して物事に取り組んだり、何でも話し合える温かい雰囲気づくりに努めたりしていますか。	85.1 53.2	14.9	0.0	0.0	3.85	A	A	A	А
しての組織力と機動力の強化	○互いを尊重し、 フットワーク・ネットワーク・チーム ワークに優れた教職 最知嫌の機能化な図	3		学校は、教職員間の報告・連絡・相談体制が確立されており、 生徒の情報共有が図られていますか。	51.1	40.4	8.5	0.0	3.43	Α	3.33	3.82	4.00
の強化	員組織の機能化を図る。	4	教員	学校は、学年や校務分掌のメンバー―人―人のよさに目を向け、それを生かし合えるように、協働意識をもって教育活動に取り組んでいますか。	36.2	55.3	6.4	2.1	3.26	А			

(2)生徒がすすんで取り組むことのできる魅力あふれる教育活動を推進し、生徒の自ら学ぶ意欲や主体的な活動向上に努める。

	番占奴力日堙	新	44		1	各項目百	分率(%)	4	各項目	目評価 も扱第)	校内	学校科	関係者 価
	重点努力目標 (短期目標)	新番号	対象	アンケート項目	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そうは 思わない	(4点満 A:3.2(8 B:2.4(6	3割)以上	校内 総合 評価	PTA	評議員
	○新学習指導要領に 即し、基礎的な知 識・技能の習得と活	1		あなたは、すすんで課題などに取り組み、わからないことは先 生や友達、親に質問してわかるように努力していますか。	34.0	48.7	12.9	4.4	3.12	В			
	用をめざした学習方法の確立を図る。	1	保護者	お子さんは、すすんで課題などに取り組み、わからないことは 先生や友達、親に質問してわかるように努力していますか。	25.7	41.4	22.0	10.9	2.82	В			
		2		あなたは、自分でよく考えたり、友達や先生の話を真剣に聞い たりしながら、すすんで授業に取り組んでいますか。	38.1	50.7	9.3	1.9	3.25	А	В	A	A
		2		お子さんは、自分でよく考えたり、友達や先生の話を真剣に聞いたりしながら、すすんで授業に取り組んでいると思いますか。	24.0	50.2	19.4	6.5	2.92	В	3.11	3.32	3.67
		5	教員	あなたは、生徒が主体的で対話的な学びができるように、学習 方法や学習形態を工夫するとともに、問題解決的な学習展開を 心がけていますか。	31.9	66.0	2.1	0.0	3.30	А			
新たな学び		6	教員	あなたは、生徒が主体的で対話的で、深い学びができるように、目標を明確にするとともに、ふり返りの記述やテストの結果をもとに、自己の指導方法を評価し、次の指導へ生かしていますか。	31.9	59.6	8.5	0.0	3.23	А			
の姿の追究	○ICTを活用した授業 実践とタブレット端 末を効果的に活用し	3	生徒	先生は、授業に興味や関心をもって取り組めるように、テレビやパソコン、タブレットなどを使って学習方法を工夫したり、 わかりやすく説明したりしていますか。	40.0	40.8	16.4	2.8	3.18	В			
究	た学習方法を展開する。	3	護	学校は、お子さんが授業に興味や関心をもって取り組めるように、テレビやパソコン、タブレットなどを使って学習方法を工夫したり、わかりやすく説明したりしていると思いますか。	14.9	53.6	27.5	4.0	2.79	В	B B A 3.13 3.09 3.33		
		7	教員	あなたは、生徒が興味や関心をもって取り組めるように、テレビやパソコン、タブレットなどを使って学習方法を工夫し、楽しく、わかりやすい授業を心がけていますか。	31.9	55.3	12.8	0.0	3.19	В			
		4		あなたは、学校や家のルールを守って、タブレット端末を活用 することができましたか。	70.3	21.7	5.8	2.2	3.60	А	3.13	3.09	3.33
		4	保護者	お子さんは、学校やご家庭のルールを守って、タブレット端末を活用していましたか。	35.4	37.9	18.0	8.6	3.00	В			
		8	教員	あなたは、生徒がルールを守って正しい方法でタブレット端末が活用できるように、情報モラル教育を積極的に行うことができましたか。	21.3	61.7	17.0	0.0	3.04	В			
	○自治的で自浄力の ある集団を目ざし、 あいさつと黙働清掃	5	徒	あなたは、自分からすすんで友達や先生、地域のかたにあいさ つをしていますか。	52.0	36.2	10.2	1.6	3.39	А			
	を柱として、恒常的 な活動の充実を図 る。	5	保護者	お子さんは、自分からすすんで友達や先生、地域のかたにあいさつができますか。	34.0	45.3	18.7	2.0	3.11	В			
	ବ .	9	教員	あなたは、生徒がすすんであいさつできるように、自らあいさつをしたり、あいさつの重要性に気づくように働きかけたりしていますか。	63.8	34.0	2.1	0.0	3.61	А	А	А	А
生徒		6	徒	あなたは、毎日の清掃活動では、自分の仕事に責任をもち、 黙って真剣に取り組んでいますか。	45.0	44.7	7.9	2.5	3.32	А	3.35	3.86	4.00
の		6	保護者	お子さんは毎日の清掃活動では、自分の仕事に責任をもち、 黙って真剣に取り組んでいると思いますか。	30.5	55.8	11.6	2.2	3.15	В			
主体的な活動		10	教員	あなたは、生徒が黙働清掃ができるように、積極的に声をかけたり、静かに掃除することの意義について指導したりしていますか。	55.3	40.4	4.3	0.0	3.51	А			
動の推進	る活動を基盤とした	7	徒	あなたは、自分からすすんで委員会活動や生徒会活動、学校・ 学年行事に取り組んでいますか。	43.5	39.5	14.0	3.1	3.24	А			
	機能化と充実を図る。	7	保護者	お子さんは、自分からすすんで委員会活動や生徒会活動、学校・学年行事に取り組んでいると思いますか。	36.3	46.0	14.2	3.5	3.15	В		٨	^
		8	徒	あなたは、学校や学級で決めたことにすすんで協力したり、よりよくなるように積極的に意見を述べたりしていますか。 お子さんは、学校や学級で決めたことにすすんで協力したり、	18.9	41.0	31.4	8.7	2.70	В	B 3.04	A 3.68	A 4.00
		8	護者	よりよくなるように積極的に意見を述べたりしていると思いますか。 あなたは、委員会活動や生徒会活動、学校・学年行事に生徒が	21.0	48.5	25.3	5.1	2.85	В			
		11	教員	主体的に取り組めるように、場を設定したり、指導・助言をしたりしていますか。	34.0	57.4	8.5	0.0	3.25	А			

(3)教育諸条件の整備と改善を図り、生徒の成長に生きて働く教育環境づくりに努める。

		址					分率(%)		名頂!	目評価	松中	学校	関係者
	重点努力目標 (短期目標)	新番号	対象	アンケート項目	そう思う	2 どちらかと いえばそう 思う	3 どちらかと いえばそう 思わない	そうは 思わない	(4点満 A:3.2(点換算) 8割)以上 5割)以上	校内 総合 評価	PTA	評議員
	○不登校や支援を要する生徒に寄り添うとともに、いじめ・	9	生徒	あなたは、毎日楽しく学校に通うことができていますか。	56.8	30.4	9.3	3.5	3.41	А			
	不登校を生まない学校風土を醸成する。	9	保護者	お子さんは、毎日楽しく学校に通っていますか。	47.7	41.6	8.1	2.6	3.34	А			
		10		友達の正しくない行動を見たときには、注意したり、周りの友 達や先生、親に相談したりすることができますか。	25.7	50.0	19.0	5.2	2.96	В			
		10	護	お子さんは善悪の判断ができ、友達の正しくない行動を見たと きには、注意したり、周りの友達や先生、親に相談したりする ことができますか。	26.0	55.3	17.1	1.7	3.06	В			
		12		あなたは、一人一人に目を向け、いじめや不登校のない居心地 のよい学級・学年づくりに取り組んでいますか。	61.7	38.3	0.0	0.0	3.62	А	A	А	А
		11		あなたは、友達が困っていたら、親身になって話を聞いたり、 手助けしたりすることができていますか。	54.7	36.2	7.6	1.6	3.44	А	3.30	3.77	3.83
	くまして豊かで建	11	保護者	お子さんは、友達が困っていたら、親身になって話を聞いた り、手助けしたりすることができていると思いますか。	34.1	55.8	9.4	0.7	3.23	А			
たく		12	保護者	先生は、一人一人の子どもや保護者の困り感に寄り添うことが できていると思いますか。	22.5	59.6	14.8	3.2	3.02	В	-		
ましく豊		13		あなたは、不登校傾向や発達障害など、支援を要する生徒や保 護者の困り感に常に寄り添うことができていますか。	46.8	48.9	4.3	0.0	3.43	А	-		
かで健や		14	教員	学校は、不登校傾向や発達障害など、支援を要する生徒や保護者の困り感を一人で抱え込むことがないように、生活サポート体制や学年体制が整っていますか。	53.2	44.7	2.1	0.0	3.51	А			
かな心	○自他の命を大切に する心の育成を柱と した教育の推進と道 徳教育の充実を図 る。	12	生徒	あなたは、自分の命だけでなく、友達の命の大切さを意識し、 交通ルールやマナーを守って安全な登下校を心がけています か。	69.8	26.6	2.9	0.7	3.66	А			
の 育 成		13	保護者	お子さんは、日頃から交通ルールやマナーを守り、安全な登下 校ができていると思いますか。	41.4	52.5	5.3	0.8	3.35	А	-		
		15		あなたは、生徒が安全に登下校ができるよう、安全指導の内容 や指導方法を工夫していますか。	29.8	66.0	4.3	0.0	3.26	А	A 3.35		
		13		あなたは、周りの人たちに、思いやりの気持ちをもって接して いますか。	57.6	37.1	4.5	0.9	3.52	А			
		14	保護者	お子さんは、周りの人たちに、思いやりの気持ちをもって接し ていると思いますか。	37.3	57.3	5.0	5.0	3.36	А		A 3.95	A 3.83
		14		先生は、みなさんの命の大切さや思いやりの心を育むために、 熱心に道徳の授業や学級指導に取り組んでいますか。	58.1	32.6	6.7	2.6	3.46	А			
		15	護	学校は、子どもたちに命の大切さや思いやりの心を育むため に、熱心に道徳の授業や学級指導に取り組んでいると思います か。	27.6	61.3	9.3	1.8	3.15	В			
		16		あなたは、命の大切さや思いやりの心を育むために、安全教育 や道徳教育、学級指導に熱心に取り組んでいますか。	48.9	48.9	2.1	0.0	3.47	А			
		17		あなたは、道徳の授業を毎週計画的に実践するだけでなく、指 導と評価が一体化した道徳授業を心がけていますか。	17.0	61.7	21.3	0.0	2.96	В			
家庭	○学校HPや各通 信、新聞等により、	15		あなたは、学校生活の様子を、学年通信や各種たよりを通し て、保護者に伝えることができていますか。	43.0	38.2	13.8	4.9	3.19	В			
庭・地域	家庭や地域に、タイムリーな学校の情報 を積極的に発信す	16	護	学校は、生徒の学校での様子や教育活動に関する情報を、学級・学年通信や各種たより、ホームページ等で発信できていますか。	27.2	55.5	15.6	1.8	3.08	В			
への	る。	18	教	学校は、学年・学級通信などの各種たよりをタイムリーに発行したり、ホームページを随時更新したりして、生徒の学校での様子や様々な情報を保護者や地域に積極的に発信していますか。	48.9	40.4	8.5	2.1	3.36	А	A 3.20	A 3.82	A 4.00
発信力と受信力の強	○家庭や地域からの 声をいかした学校評 価を推進し、家庭や 地域との協働体制の	17	保護者	学校は、お子さんのことや学校教育に関して、質問や相談がし やすいと感じますか。	15.3	56.9	24.7	3.2	2.85	В			
強 化	構築を図る。	19		学校は、保護者や地域の声に耳を傾け、日々の教育活動に反映 させることができていますか。	53.2	46.8	0.0	0.0	3.53	А			

		女仁		+-			各項目百分率(%)				各項目評価			学校	関係者							
	重点努力目標 (短期目標)	新番号	対象	 アンケート項目	1	2	3	4	(4点満	点換算)	校内 総合	評	評価									
	(短期日悰)	号	家		そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そうは 思わない	A:3.2(8 B:2.4(6	5割)以上	評価	PTA	評議									
	○生徒会ボランティ			あなたは、地域貢献活動や校内ボランティア活動に積極的に参																		
	アセンターを柱とし	16	生	加したり、依頼があればすすんで協力したりしようと思います	23.5	37.6	26.2	12.6	2.72	В												
J١	た地域貢献活動の推		徒	か。																		
	進と梅田川フォーラ ムの活動の充実を図		保	お子さんは、地域貢献活動や校内ボランティア活動に積極的に																		
地 域	る。	18		参加したり、依頼があればすすんで協力したりしようしている	21.2	37.7	30.8	10.3	2.70	В												
貢献	※地域貢献活動には、 梅田川フォーラム(8月		者	と思いますか。																		
活	南稜美活動・11月梅田	田		学校け 地域貢献活動や校内ボランティア活動を積極的に推進							В	Α	A 3.67									
動の	川クリーン作戦)も含み ます。	20	教品	学校は、地域貢献活動や校内ボランティア活動を積極的に推進 するとともに、生徒会のボランティアセンターを効果的に活用	57.4	38.3	4.3	0.0	3.53	Α	2.96	3.32										
推			員	していますか。																		
進と	○4 小学校のめざす		教	学校は、学習指導、生活指導、安全指導について、校区内の4																		
り	子ども像を共有し、	21	員	小学校と課題を共有し、連携を図りながら課題の解決に努めて	25.5	57.4	17.0	0.0	3.08	В												
	9 か年を見通した教			いますか。 あなたは、各小学校区の特性をとらえて指導に生かしたり、小																		
	育課程の編成を図る。	22	教品	学校の学びを意識して系統的な学習を展開したりしています	17.0	44.7	38.3	0.0	2.79	В												
			員	か。																		
ESD教育	○連携研究の柱であ	17	生	あなたは、梅田川をテーマにした総合的な学習では、自ら課題	41 C	42.0	100	3.2	2.00	۸												
	るESD教育を柱と した教育活動の充実	17	徒	をもち、その課題を解決するためにすすんで学習することができましたか。	41.6	42.0	13.2	3.2	3.22	Α												
	と実践化を図る。		保	 学校は、梅田川をテーマにした総合的な学習では、子どもたち																		
		19		が自ら課題をもち、その課題が解決できるように学習内容をエ	22.5	62.1	12.9	2.5	3.05	В	B 3.18											
			者	夫していると思いますか。								А										
		23	教	学校は、梅田川をテーマにした総合的な学習では、体験的な活動を取り入れ、子どもたちが主体的に探究できるようにカリ	59.6	40.4	0.0	0.0	3.60	Α			3.50									
)			員	キュラムを工夫していますか。	00.0		0.0	0.10	0.00	, ,		3.27										
充実			保	学校は、校区内の4小学校と連携し、小中の9年間を通して、																		
		20		ESD教育(持続可能な社会の担い手の育成)を意識しながら学習を進めていると思いますか。	16.7	59.5	21.1	2.7	2.90	В												
			10	学校は、校区内の4小学校と連携し、小中の9年間を通して、																		
		24	教品	持続可能な社会の担い手の育成を意識しながら学習を進めてい	34.0	44.7	21.3	0.0	3.13	В												
			員	ますか。																		
5)	業務改善による	教聙	損	の多忙化解消と計画的な研修による	 亨門職	はとして	てのナ	量向.	上に努	める。												
		ψC				各項目百	分率(%)		各項目	3. 京本	44-4-	学校	関係者									
重点努力目標 (短期目標)	重点努力目標 (短期日標)	新番号	対象	アンケート項目	2	3	4	(4点满 A:3.2(8	点換算)	校内 総合	計	四										
	(短知口惊)	号	家	豕	家	豕	豕	豕	家	家	家	家	家		そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そうは 思わない	B:2.4(部)以上	評価	PTA
	○校務支援システム			学校は、校務支援システムの効果的な活用や事務作業の日																		
	の活用や部活動の見	25	教	の設定、部活動の見直し、会議の精選などによって、業務	36.4	59.1	4.5	0.0	3.32	Α												
	直し、事務作業の日		員	改善の推進に努めていますか。																		
教				1							_											
職	の設置などによる業			学校は 個人の働き古み某に対する音楽句 L た P ギナレレ																		
職員の		26	教	学校は、個人の働き方改革に対する意識向上を目ざすとと もに、学年や学校として取り組めることを明確にし、在校	22.7	61.4	15.9	0.0	3.07	В	А	А	А									
哉員の多亡	の設置などによる業	26	教員		22.7	61.4	15.9	0.0	3.07	В	A 3 24	A 3 91	A 00									
哉員の多亡と	の設置などによる業	26		もに、学年や学校として取り組めることを明確にし、在校	22.7	61.4	15.9	0.0	3.07	В	A 3.24	A 3.91										
職員の多忙化解消	の設置などによる業 務改善を推進する。	26	員	もに、学年や学校として取り組めることを明確にし、在校 時間が縮減できるように積極的に取り組んでいますか。	22.7	61.4	15.9	0.0	3.07	В												
教職員の多忙化解消と	の設置などによる業務改善を推進する。	26	員教	もに、学年や学校として取り組めることを明確にし、在校	22.7	61.4 52.3	15.9	0.0	3.07	В			A 4.00									

指導力の向上を図